Entry No.	12

推薦する取り組み	園館名
令和７年度のアジアゾウに対する エンリッチメントの取り組み	京都市動物園

推薦理由

・毎日複数種類のエンリッチメントがあるように運用
「インプット・アウトプット面からの効果評価」
・エンリッチメント記録システムによる実施評価（毎日）
・フィーダー有無による行動変化を定量比較（メス 4 頭を対象として、2 時間×10 日間の監視カメラ映像解析）

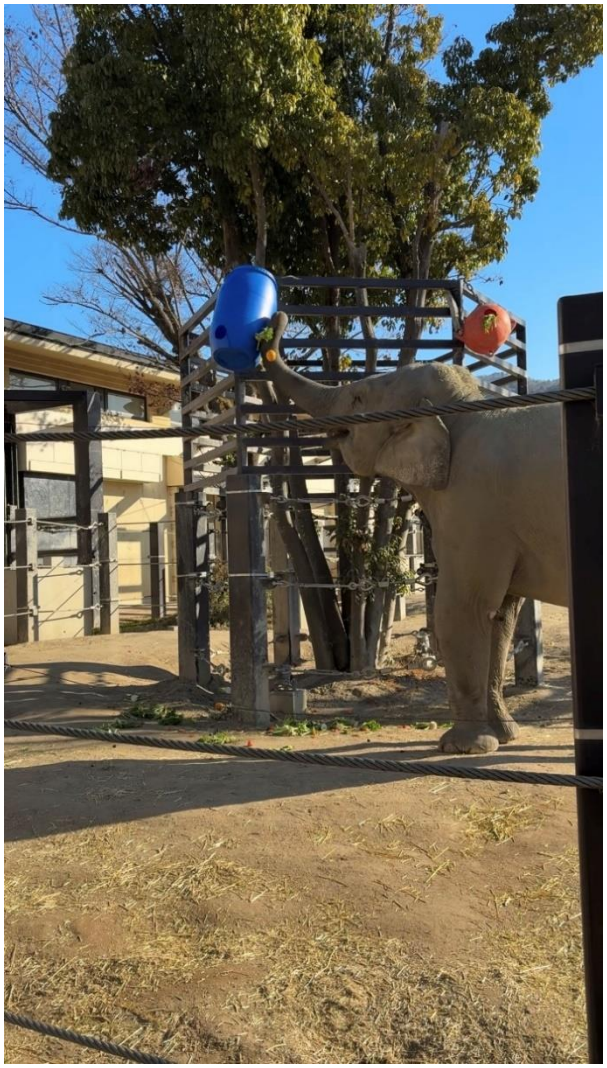
■イベントの開催と周知方法
「エンリッチメント体験」
・参加者にエンリッチメントの説明
・フィーダーの作製と観察
・参加者がエンリッチメント案を提出
「ゾウの森を再現しよう」
・参加者と放飼場にバショウなどを植える
・野生環境をガイドで解説
・枝葉を採食する様子を観察
「エンリッチメントリストの作成」
・過去のエンリッチメントを看板として掲示・ファイリング

■成果と意義
フィーダーの設置によって特定個体の常同行動に減少傾向が見られた。また鼻を上げての探索行動が増加し、行動レパートリーが増加した。
イベントや看板を通じて、参加者に動物福祉への理解を深める機会を提供した。さらに、参加者考案のエンリッチメントの利用など来園者との接点の増加や飼育員間のコミュニケーションの増加に繋げたことで、動物福祉向上の取組を継続しやすくなるような環境をソフト面・ハード面ともに整えた。

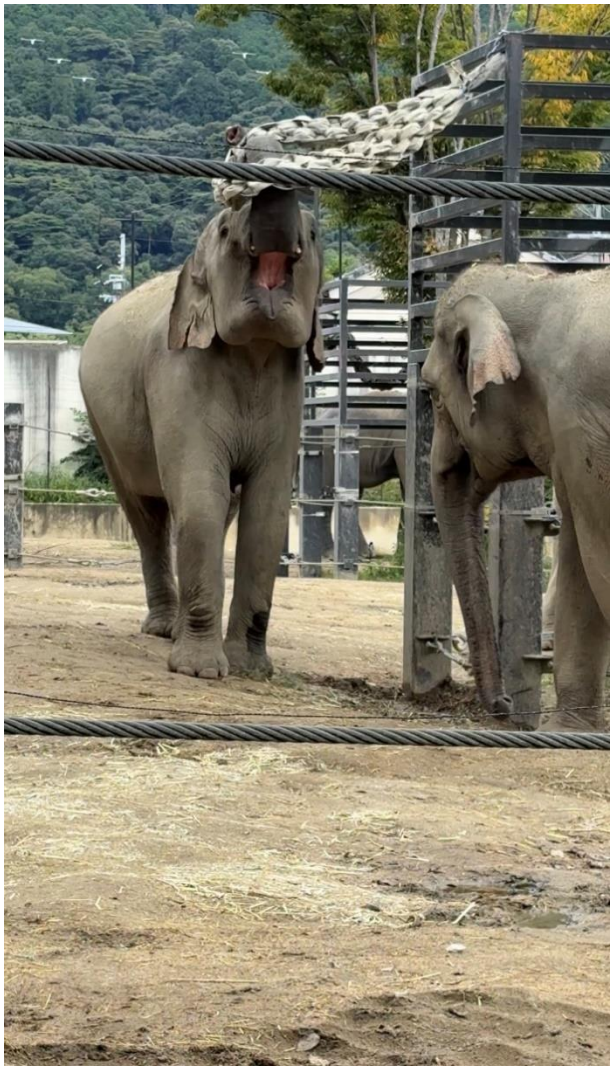
エンリッチメントリスト

エンリッチメント体験

Entry No.	12



フィーダー1



フィーダー2

森を再現しよう